

まちづくり人材育成プログラム

場  づくりLabo
in 与謝野町

～ 農と食と地域 ～

7/20(木)から
募集開始

定員：15名



与謝野町

まちづくり人材育成プログラムは、自治体職員、地域づくり支援者、実践者等を対象に、住民主体のまちづくりの現場を体感してもらい、ディスカッションを通じて「地域づくり」を問い直すプログラムです。

今回のプログラムでは、農と食の価値を活かした地域づくりをテーマに、与謝野町らしい風土、地形を生かした米づくりや野菜づくり、食を通じた内外とのつながりと地域づくりの関係性について、地元の農家、料理人、ローカルベンチャーのキーパーソンから話を聞き、参加者のみなさんとワークショップ形式で話し合いをします。

日程

●事前学習（オンライン）2023/ **9/30** (土)10:00～12:00

●現地フィールドワーク 2023/ **10/7** (土)11:00～/ **8** (日) 15:30解散予定

●集合・解散場所：京都丹後鉄道 与謝野駅

1泊2日

場所

●フィールドワーク

1日目：「かや山の家」与謝野町温江1401

2日目：「PAPUBLIC HOUSE TANGOYA(丹後屋醸造に併設されるビアパブ)」与謝野町下山田1342-1

対象

●自治体職員、NPOや地域運営組織等で、まちづくりや地域づくりに取り組む実践者、支援者等

参加費

●プログラム参加費：無料 宿泊費・食費：15,000円（税込）予定
開催地までの往復交通費・ビール等の飲み物は、別途ご負担となります。



詳細はこちら

内容は変更する場合がありますのでご了承ください。

新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、延期や中止、オンライン開催への切り替えを行う場合があります。



今回は、京都府北部にある与謝野町を訪問します。与謝野町を含む丹後地方は、古くから織物の里として、絹織物「丹後ちりめん」の生産地として隆盛を極めるとともに、物流の拠点としても栄えてきました。また、四季折々の植生が豊かな大江山連峰や、天橋立の内海である阿蘇海、サケが遡上する清流 野田川といった自然に恵まれた地域で、今回のフィールドワーク先である、大江山から加悦谷平野一帯は田園地帯が広がる米どころです。近年では、ビールの原材料となるホップ栽培もおこなわれ、農作物の生産も盛んです。

内容 ※内容は変更する場合があります。ご了承ください。

9/30 (土)	10:00~ 12:00	開校式（オンライン）ZOOMを活用します。
10/7 (土)	11:30~ 18:00	<p>・与謝野町で、地域づくりに関わる方々から話を聞く</p>  <p>・グループワーク</p> <p>青木 博 氏（かや山の家）</p>  <p>木村正典氏・木村有紀子 氏 (まさ農園)</p>
	18:00~ 20:00	懇親会 @かや山の家
		宿泊所 @かや山の家ほか
10/8 (日)	9:00~ 15:30	 <p>濱田 裕太 氏 株式会社 ローカルフラッグ代表</p>  <p>メンター 森本 健次 氏 株式会社南山城 代表取締役</p>  <p>モデレーター 上杉 和央 京都府立大学 文学部准教授・ KIRP統括マネージャー</p>  <p>モデレーター 鈴木 暁子 KIRPコーディネーター</p> <p>・振り返り ・閉校式</p>

全体モデレーター



川勝 健志
京都府立大学公共政策学部教授
・KIRPセンター長

■こんな人におすすめ

- ・地域づくり一般に興味があるひと
- ・与謝野町での取り組みについて知りたいひと
- ・地域づくりで、より多くの人を巻き込みたいと思っているひと
- ・住民主体、住民自治という概念に興味があるひと

申込・お問い合わせ

京都府立大学 京都地域未来創造センター
kirpinfo@kpu.ac.jp <https://kirp.kpu.ac.jp/>
 075-703-5390

協力 株式会社ローカルフラッグ



申し込みフォーム

